

平成28年度 事業報告書

設置者	学校法人志田学園				
幼稚園名	認定こども園鈴川幼稚園				
理事長	志田 直正	園長	志田 直正		
所在地	静岡県富士市鈴川東町 16 番 17 号				
定員数 (利用定員)	90名 (75名)	認可クラス	年少	年中	年長
		学年定員数	1	1	1
			30名 (25名)	30名 (25名)	30名 (25名)

学級名	3歳児(満3歳児)			4歳児			5歳児			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
ばら	10	6	16							16
もも				9	5	14				14
せんだん							13	6	19	19
(ゆり)	(2)	(6)	(8)							(8)
合計	12	12	24	9	5	14	3	6	9	57
	男	女	学年計	男	女	学年計	男	女	学年計	園児数合計

(平成28年3月)

男	13
女	6
合計	19

教員数		職員数	
園長	1	事務員	1
教頭 (副園長)		事務員	
保育教諭	5	用務員	
助教諭		調理員	2
養護教諭		運転手	2
講師		警備員	
その他	2	その他(年少組補助)	
合計	8	合計	5

建物面積	567 m ²
土地面積	1,977 m ²

事業方針	事業の推進	<p>平成27年度、建学の精神に基づく教育方針を根幹として、今年度の教育目標の達成に向けて、教育部門の適切な遂行を図るとともに、管理部門との連携を密に保ちつつ、園の運営を推進した。</p> <p>なお、前年度と同様に緊急災害時への適切な対応等、安全面に主眼を置いて、施設環境の点検と整備に努め、避難訓練等、安全教育の徹底を図った。</p> <p>また、本園は、平成27年度から認定こども園（幼稚園型）に移行し、子ども子育て支援新制度に則り、事業の推進を図ってきた。</p>	
	予算編成の基軸	<p>今年度の本園の教育研究上の目的を根幹として、関連事業計画の遂行・達成を図るために、適切な財務状況を維持し運営することを予算編成の基軸とし、特に、本園の教育・研究目的の達成のために必要な経費の確保と、収入・支出のバランスを考慮した予算編成を行なった。</p>	
	具体項目	内 容	
1	教育内容	<p>各学年の『ねらい』を全職員が共通理解し、3カ年の保育課程を見通し、園児ひとりひとりの成長に即した指導・援助を行うことによって、教育目標の達成をめざした。</p>	<p>各学年の「ねらい」を全職員が常に明確に把握し、子どもたち・保護者への援助と指導を行った。</p> <p>園児ひとりひとりの成長・発達の実態を職員全体が把握することに努め、各園児に応じた教育・援助をすることができた。</p>
2	研究内容	<p>園内で子どもたちと共に収穫する作物を食材とし、「食育」の観点から子どもの成長・発達を考察する。</p>	<p>平成26年度「自然体験と食育」をテーマに1年を通して研究してきた、その成果をもとにし平成27年度は引き続き「食」を巡って、園児が食材の収穫と自然体験を実践し、さらに、園児自らによる給食の体験学習について考察する。</p> <p>また、園児の家庭における「食」の実態を把握すると共に園と家庭の連携を図る。</p> <p>これらの取り組みの過程を総合して、園児の「食育」として取りまとめる。</p>
3	地域連携	<p>① 地域の教育力の活用</p> <p>② 域づくりの参加と貢献</p> <p>③ 園の地域への開放 (別紙年間行事参照)</p> <p>④ 地域との連携</p>	<p>① 地元中学生との交流・・・夏まつり(8月1日) 造形まつり(2月13日)</p> <p>③ デイケアセンター「はまかぜ」交流会・(12月14日)</p> <p>④ 元吉原地区文化祭への参加</p> <p>⑤ 未就園児の会(年間20回)</p> <p>⑥ PTAバザー(10月)</p> <p>⑦ 災害避難訓練</p> <p>⑧ 学校防災教育連絡会議(7月)</p>

4	施設設備	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性の確保 ・適切な教育環境の整備 ・施設の整備・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎・園庭の諸整備および遊具の安全に常時細心の注意を払い、定期的な点検と整備に努めてきた。 ・本園の恵まれた豊かな自然環境を園児の重要な教育環境とし、その活用を図った。 ・年間を通して、園庭の美化に努めるとともに、園庭の一角にある畑を園児とともに作物を育て収穫する。 ・施設に関しては、渡り廊下の改修等改善を図る。
5	管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・管理・運営体制の整備 ・管理と教育の適切な運営 ・自己点検・評価活動への取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の目的達成に向けて、管理運営が園の教育の効果に適切に反映できるよう、常に園と設置者との職員会議・連絡会議をとおして綿密な連携を図り、その推進に努めた。 ・自己点検・学校関係者を実施して、結果をホームページで公表し、点検と評価の結果を慎重に検討して、教育環境の改善と教育内容の充実に努めた。
6	財 務	<ul style="list-style-type: none"> ・財務基盤の安定化 ・適切な会計処理 ・財務情報の公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育活動の質的な充実と向上、及び、施設・教育環境の整備と充実に努めるため、小規模幼稚園としての経営のもとに、良好な経営状況を維持する予算の実行に努めた。 ・適切な財務の状況を維持する努力をするとともに、適切な会計処理につとめた。なお、園児数が少ない 今年度の厳しい財務状況のもとで、当初の教育目標の達成に努力した。 ・財務状況に関して、ホームページで適切に公開してきた。